

るからまだ紛れもすれぎ、親は我が子獨りを見守るのであるから氣が揉めて堪らず根氣負けして退園させる例も少くない。そんなにはなれぬ人でも二三月の後まではなれぬ人はないし自分から遊べぬ人はないのであるが、其始は何時になつたら、手にはいるかと思ふ氣が氣でなく早く早くあせつて遂ひ特別の手段を講ずるやうになるのであるが、特別の子供は例外として一般の子供は氣長に時期を待つて其間に時期をはずさず、特別に時間と意を用ひて手に入れる事に留意せねばならぬ。其時期を見透すのが一大手腕である。

かくて數々の注意を以て園児を迎へた上は、幼稚園の使

命を家庭の方にもよく理解して貰はねばならぬ。其内で一番大事な事は保育といふ事は幼稚園の玄關を入るま直ぐに始まり、玄關より送り出すまで間斷なくつゞくものである事、従つて幼稚園内はごこでも保育の場合であつて廊下でも庭の隅でも等しく保育室である事を心得て貰う事である。こもすれば所謂保育室、だけを教場の如く考へて大事な運動場や遊戯室なきを子守の場所のやうに誤解される事のあるのは迷惑至極な事である。これ畢竟世間一般の人が幼稚園といふものを理解して居ない爲めである。一人でも多くの理解ある人を得る事は又我等の大切な使命であらねばならぬと思ふのである。



東京市番町小學校附屬幼稚園

檜山

京

手續、入園希望者は、願書用紙を幼稚園から受取り各欄へ記入の上麴町區役所で照會の捺印を受けたものを幼稚園に出し、園から定められた日に校醫の健康診断を受けて入園許可といふ事になります、トラホーム、濕疹其他傳染性

の病氣は治療をすゝめ全快してから入園を許可する事になつて居ります、なほ區役所の照會といふのは年齢證明の爲なので区内に籍のない者は證明出来ない事になります。

保護者會、右の手續がすみますと三月の中に新入園児保

護者會を開き(當日は成る可く幼児を同伴せずに)園長から保育の方針保母の紹介、規則を保護者心得の大意を語られ、毎日の所持品(手拭、上靴、鼻紙、お辨當、箸、湯呑、歯ブラシ)預る品(鉢、クレイヨン、自由畫帖)に就て説明し、幼児調査表を渡してこれまでの家庭に於ける幼児の生活状態を記入して入園式の日を受持へ渡す様にし、なほこれまでの習慣に就て特に家庭から希望される注意があれば申出られる様にします。

入園式、保護者同伴ですが、園長からも此の日は主として幼児に對してのお話で、直に組を分けて室、手洗、携帶品置等を指示します。その次の日には前學期から在園の幼児が、新しい友達を迎へて唱歌や遊戯を見せ「みんなで仲よくあそびませう」と約束をします。

以上はほんの形式の事で、此外に新しく幼児を迎へる私共としては多くの仕事に大切な心構へがあります。運動具、玩具(飯事道具、人形、小積木、コマ砂場用具等)椅子等の器具の修繕、窓硝子塗板等室内の營繕、新しい玩具砂場の砂の補充、カーテンの洗濯、樂器の調律等丁度家庭で新年

を迎へる爲の年の暮の仕度と同様です。

叔私共はそんな心構へで幼児を迎へたらよいでせうか。既に兄や姉が幼稚園へ行つて居り、時々は自分も送り迎へのお供をして「いよく、今度は自分も」こいふのは幼児も私共もお互に顔見知りこいふ心易さがあるのですが初入園の幼児達は、そのお母様から、お祖母様から何こいはれ、その自由な想像で、そんな幼稚園を描いて來るでせう。云て何十人も幼児の想像を追つて居たら際限がありません。たゞ幼児の一人一人の想像を各自の家庭生活から俄に變化した生活に入つた爲めに幼児が、物にさわられたイソギンチャクや龜のやうに自分を閉ぢこめてしまふ事がなないように、ほごけたままの、心易さを持たせたいと思ひます。室の飾りも美しい人形もいゝでせうが、先づ私共としては子供を知る事、せめて名前だけでも、そして出来るなら家庭で呼びなれてゐたそのままに、お家で「定子」を「サアチャン」と呼んで居たら、追々は「定子さん」になるようにして、まづ第一日はこみに改つて名を呼び上る時でなく一寸した會話の時、よびこめる時なきに、お母様から呼び

なれた呼ばれ方をされた時は、幼児にうつかり「チーお母ちゃん」云ひ出す機會を、又さうした心持を與へはしないでせうか、一時に五、六十人の名前を覺えるのはなかなかですが學生時代の暗記試験のつもりで、自分の受持した幼児の名だけは四月一日までに早く覺えてしまふ事、そしてあらゆる機會に顔名を一致して覺えるように努力する事。

次に私達は、まづ、幼児のよき友達であり度い、こゝの友達の意味は幼児の理解者同情者であつて同時に保護者であります。これは新學期に於て特にかうあり度いと思ふのであります。これは新學期にはなくてよいさか又は友達といふ事を「幼児の機嫌をこる」といふ事に解釋したら大した間違ひ



新入兒の迎へ方に就て御たづねにあづかりあゝもう直に四月！ミ、古い幼兒を一學年に送りますのにあれもこれもミ考へて居りますこゝが一しほあたらしい様な氣持で、今

になります。

よくなか／＼口をきかない幼兒がまづき、始は友達同志である事を發見しますが、心易くなりにくい幼兒には、丁度よい友達を作て道が同じ方面なら往復を一緒にするさか、家庭でも一緒に遊ぶさかいふ事をすゝめるのもこれは心構へより方法になりますが、心構へのうちに含ませてもよいかと思ひます。

一口に云へば幼兒に、心易さの感じを與へるに同時にこちらではあらゆる方法で幼兒を理解する事。その爲には私達が歸途に二つ道があるなら、今度は入た幼兒の家の方を通過、路傍であそぶ幼兒の姿に接し「また明日ね」といふのも、ほんのさゝいな心構の表れです。

横濱小學校附屬幼稚園

坂 口 圭

更のように過し一年が省みられる次第でございます。

さて新入兒の迎へ方ミ申しましても、取り立て、申上る様なこゝもいたして居りませむがおたづねのまゝに御答へ